

【令和元年10月1日一部変更】

元気県ぐんま 2 1 (第2次) 目標項目・ベースライン値・目標値 一覧

目標項目	対象	ベースライン値	中間評価時 (H30年8月) 現状値	目標値	データソース
<b>1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現に関する目標</b>			<b>項目数 2</b>		
①健康寿命の延伸（日常生活に制限のない期間の延伸）	男性 女性	71.07年 75.27年	72.07年 75.20年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	国民生活基礎調査を基に算出
②健康格差の縮小（日常生活に制限のない期間の平均の市町村格差の縮小）	—	—	—	市町村格差の縮小	—
<b>2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底に関する目標</b>			<b>項目数 13</b>		
<b>(1) がん</b>					
①がん検診の受診率の向上	総数				国民生活基礎調査  ※2年以内に受診している者の受診率
・胃がん	40歳～69歳	35.8%	41.4%	50%	
・肺がん	40歳～69歳	28.5%	53.6%	50%	
・大腸がん	40歳～69歳	27.8%	40.3%	50%	
・乳がん ※	40歳～69歳	43.1%	43.3%	50%	
・子宮がん※	20歳～69歳	41.6%	43.1%	50%	
<b>(2) 循環器疾患</b>					
①脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少 (人口10万あたり)	男性 女性	51.3 29.7	39.5 23.5	43.1 27.2	人口動態統計
②虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (人口10万あたり)	男性 女性	25.3 10.7	22.5 8.3	21.8 9.5	人口動態統計
③高血圧の改善（収縮期血圧の平均値の低下）	20歳以上 男性 女性	134.9 132.9	130.4 126.0	131 129	県民健康・栄養調査
④脂質異常症の減少 総コレステロール240mg/dl以上 LDLコレステロール160mg/dl以上	40歳～79歳 男性 女性 男性 女性	13.7% 22.7% 12.3% 9.3%	11.4% 14.5% 8.1% 10.3%	10.0% 17.0% 9.0% 7.0%	県民健康・栄養調査
⑤メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	総数 40歳～79歳 該当者 予備群	14.6% 11.9%	15.3% 11.8%	平成20年度に比べて25%以上減少	特定健康診査・特定保健指導実施状況に関するデータ (厚生労働省)
⑥特定健康診査の実施率の向上	総数	44.0%	49.0%	70%以上	特定健康診査・特定保健指導実施状況に関するデータ (厚生労働省)
⑦特定保健指導の実施率の向上	総数	10.9%	13.6%	45%以上	
<b>(3) 糖尿病</b>					
①合併症（糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数）の減少	総数	324人	325人	300人	わが国の慢性透析療法の現状 (日本透析学会)

目標項目	対象	ベースライン値	中間評価時 (H30年8月) 現状値	目標値	データソース
②治療継続者の割合の増加	総数	70.3%	62.4%	80%	県民・健康栄養調査
③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 ※HbA1cがJDS値8.0%（NGSP値8.4%）以上の者の割合	総数	1.3%	1.07%	1.1%	特定健康診査・特定保健指導実施状況に関するデータ（厚生労働省）
④糖尿病有病者の増加の抑制	総数 40～74歳	117,000人	—	131,000人	都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ
<b>(4) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）</b>					
①COPDの認知度の向上	総数	—	34.5%	80%	県民・健康栄養調査
<b>3 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上に関する目標</b>					項目数 14
<b>(1) こころの健康</b>					
①気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少	総数 20歳以上	8.2%	10.5%	7.4%	国民生活基礎調査
②メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加	総数	30.5%	25.7%	100%	群馬労働局心の健康対策に関するアンケート調査
③小児人口10万当たりの小児科医の割合の増加	総数	99.6	118.6	増加傾向へ	医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）
④自殺者の減少	総数	476人	390人	平成29年と比べ20%以上減少 ※265人以下	人口動態統計 ※参考値
<b>(2) 次世代の健康</b>					
①朝・昼・夕の三食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加	小学5年生	87.8% (H25年度)	84.9%	100%	群馬県児童生徒の食生活等実態調査
②運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加	小学5年生	46.4% (H30年度)	56.8%	増加傾向へ	群馬県児童生徒の食生活等実態調査
③全出生数中の低出生体重児の割合の減少 (出生1,000人あたり)	総数	92.9	90.3	減少傾向へ	人口動態統計
④肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学5年生 男子 女子	5.93% 3.86%	5.37% 3.18%	減少傾向へ	学校保健統計調査
<b>(3) 高齢者の健康</b>					
①介護保険サービス利用者の増加の抑制	総数	72,193人	85,402人	104,000人	介護保険事業報告
②認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	総数	0.9%	3.7%	認知症サポーター数 200,000人	介護保険事業報告
③低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合の増加の抑制	総数 65歳以上	18.7%	17.5%	23%	県民健康・栄養調査
④ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している県民の割合の増加	総数	—	37.0%	80%	県民健康・栄養調査

目標項目	対象	ベース ライン値	中間評価時 (H30年8月) 現状値	目標値	データソース
⑤ 足腰に痛みのある高齢者の割合の減少 (人口1,000人あたり)	総数 65歳以上 腰痛 手足関節痛	182.4 118.9	172.0 95.3	165 107	国民生活基礎調査
⑥ 高齢者の社会参加の促進 (社会貢献活動をしている高齢者の割合の増加)	総数 65歳～74歳 男性 女性	36.7% 24.8%	19.8% 19.1%	70% 45%	元気な高齢者の活躍に係る県民アンケート(介護高齢課)
<b>4 健康を支え、守るための社会環境の整備に関する目標</b>					項目数 4
① 地域のつながりの強化 (居住地域でお互いに助け合っていると思う県民の割合の増加)	総数	45.7%	32.4%	65%	少子化対策と家族・地域のきずなに関する意識調査(内閣府)
② 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている県民の割合の増加	総数	3.5%	2.4%	28%	社会生活基本調査(総務省)
③ 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加	総数	5社	39社	35社	スマートライフプロジェクト参加企業(厚生労働省)
④ 健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加	総数	260	—	380	保健予防課調査
<b>5 生活習慣及び社会環境の改善に関する目標</b>					項目数 32
<b>(1) 栄養・食生活</b>					
① 適正体重を維持している者の増加 肥満(BMI25以上)	20～60歳代 男性	29.5%	30.9%	26.5%	県民健康・栄養調査
やせ(BMI18.5未満)	40～60歳代 女性	19.4%	27.6%	16.6%	
	20歳代女性	25.0%	24.4%	17.2%	
② 朝食欠食者の減少	20歳以上 男性 女性	11.5% 8.5%	12.3% 4.4%	9% 7%	県民健康・栄養調査
③ 主食・主菜・副菜を組み合わせ合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加	総数	42.0% (H28年度)	—	80%	県民健康・栄養調査
④ 食塩摂取量の減少	総数	11.7	10.0	8.0	県民健康・栄養調査
⑤ 野菜と果物の摂取量の増加 野菜摂取量の平均値 果物摂取量100g未満の割合	総数	307.5g 57.2%	274.5g 59.6%	350g 30%	県民健康・栄養調査
⑥ 食事を1人で食べる子どもの割合の減少	小学5年生 朝食 夕食 中学2年生 朝食 夕食	15.4% 3.5% 36.2% 7.1% (H25年度)	15.9% 2.6% 33.3% 6.7%	減少傾向へ	群馬県児童生徒の食生活等実態調査
⑦ 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店等の登録数の増加	総数	125店舗	125店舗	220店舗	元気県ぐんま21協力店(食部門)

目標項目	対象	ベースライン値	中間評価時 (H30年8月) 現状値	目標値	データソース
⑧利用者者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加	総数	72.1%	77.0%	85%	衛生行政報告例
<b>(2) 身体活動・運動</b>					
①日常生活における歩数の増加	20歳～64歳 男性 女性 65歳以上 男性 女性	8,362歩 6,403歩 4,589歩 5,014歩	6,698歩 6,386歩 5,342歩 4,556歩	9,500歩 8,000歩 6,000歩 6,500歩	県民健康・栄養調査
②運動習慣のある者の割合の増加	20歳～64歳 男性 女性 65歳以上 男性 女性	28.4% 24.1% 50.0% 36.1%	17.5% 11.6% 47.7% 28.2%	38% 34% 60% 46%	県民健康・栄養調査
③住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む市町村数の増加	総数 市町村	26市町村	—	全市町村	市町村取組状況調査
<b>(3) 休養</b>					
①睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少	総数 20歳以上	19.2%	16.8%	15.6%	県民健康・栄養調査
②週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少	総数 (全国値)	9.3%	—	5.0%	労働力調査 (総務省)
<b>(4) 飲酒</b>					
①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(1日当たりのアルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少	20歳以上 男性 女性	16.2% 7.1%	14.5% 7.2%	13.8% 6.0%	県民健康・栄養調査
②未成年者の飲酒をなくす ※今までに少しでも飲んだことがある者	10～19歳 男子 女子	4.3% 1.7% (H28年度)	— —	0% 0%	県民健康・栄養調査
③妊娠中の飲酒をなくす	総数	2.0%	—	0%	乳幼児身体発育調査
<b>(5) 喫煙</b>					
① 成人の喫煙率の減少	20歳以上 総数	22.4%	26.0%	12.0%	県民健康・栄養調査
② 未成年者の喫煙をなくす ※今までに一口でも吸ったことがある者	10～19歳 男子 女子	2.9% 1.7% (H28年度)	— —	0% 0%	県民健康・栄養調査
③妊娠中の喫煙をなくす	総数	1.3%	—	0%	乳幼児身体発育調査
④受動喫煙防止対策未実施の施設の割合の減少	行政機関 医療機関	10.0% 5.9%	— 4.0%	0% 0%	保健予防課調査 医療施設静態調査
⑤受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	職場 家庭 飲食店	—	—	望まない受動喫煙のない社会の実現	—

目標項目	対象	ベース ライン値	中間評価時 (H30年8月) 現状値	目標値	データソース
<b>(6) 歯・口腔の健康</b>					
① 3歳で不正咬合等が認められる者の減少	総数 3歳児	11.3%	9.8%	7.5%	母子保健事業報告
② 60歳代で食事中にムセたりすることがない者の割合の増加	総数 60歳代	82.6%	67.8%	85%	県民健康・栄養調査
③ 自分の歯を有する者の割合の増加 80歳で20歯以上の者 60歳で24歯以上の者 40歳で喪失歯のない者	総数 85歳～84歳 55歳～64歳 35歳～44歳	50.9% 68.5% 58.5%	55.3% 63.0% 62.4%	65% 75% 65%	成人歯科保健実態調査
④ 歯周病を有する者の割合の減少 17歳で歯肉に炎症所見を有する者 40歳代で進行した歯周炎を有する者 50歳代で進行した歯周炎を有する者	総数 17歳 35歳～44歳 45歳～54歳	32.2% 40.0% 50.0%	25.3% 58.6% 68.3%	20% 35% 45%	学校歯科保健調査 成人歯科保健実態調査
⑤ 歯周病予防を行っている者の割合の増加 40歳代で歯石除去や歯面清掃を定期的に受ける者 40歳代で歯間清掃用具を使用する者	総数 35歳～44歳	24.0% 34.4%	32.4% 60.1%	50% 75%	成人歯科保健実態調査
⑥ 喫煙により歯周病にかかりやすくなることを知っている者の割合の増加	総数	43.5%	50.3%	75%	県民健康・栄養調査
⑦ 乳幼児・学童期のう蝕のない者の増加 3歳でう蝕のない児 3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する児 12歳児の一人平均う蝕数	総数 3歳児 3歳児 12歳児	79.5% 24.5% 1.2本	84.0% 19.5% 0.9本	90% 15% 0.5本	母子保健事業報告 学校歯科保健調査
⑧ フッ化物歯面塗布を受けている児の割合の増加 3歳までにフッ化物歯面塗布を受けている児 3歳までに3回以上フッ化物歯面塗布を実施している市町村 フッ化物洗口を実施する市町村	総数 3歳児 市町村 市町村	65.7% 80.0% 45.7%	76.1% 82.9% 37.1%	80% 90% 70%	母子保健事業報告 母子保健事業報告 保健予防課調査
⑨ 定期的な歯科検診を受けている者の割合の増加 定期的に歯科検診を受けている者 40歳代でかかりつけ歯科医をもつ者	総数 35歳～44歳 35歳～44歳	26.4% 81.4%	42.9% 85.5%	40% 90%	成人歯科保健実態調査
⑩ 健康増進事業における歯周疾患検診を実施している市町村の増加	総数 市町村	57.1%	77.1%	80%	健康増進事業実績
⑪ 妊婦を対象とした歯科検診を実施している市町村の増加	総数 市町村	34.3%	57.1%	25市町村	保健予防課調査